

藤井組「最新映画」

新型コロナウイルス感染防止 制作ガイドライン

【基本方針・基本原則】

- ・ 制作に参加するすべてのスタッフ・出演者は、本ガイドラインに記載のルールを遵守する
- ・ 感染の可能性の高い者は帯同を禁止し、撮影に参加する者の感染の可能性を考慮した予防システムの徹底を基本方針とする
- ・ 「衛生班」を設置し、撮影中の衛生管理に当たります(本ガイドラインに沿った対策が正しく行われているかの確認と改善。現場や設備、共有機器などの消毒作業の徹底など)。
- ・ 感染の疑いがある時、身近な家族や同僚に感染者が発生した場合などは、必要に応じてPCR検査を実施する
- ・ 万が一感染者が発生した際、感染者に対していかなる差別も非難も行わない
- ・ 実施運用のなかで明らかになる問題点や改善点、世の中の状況や新たな情報によって変わることや分かることを基に、常に本ガイドラインは更新していきます

【感染者が出た場合について】

感染の疑いがある時、身近な家族や同僚に感染者が発生した場合などは、プロデューサー一部の判断に応じて抗原検査やPCR検査を実施します。

抗原検査やPCR検査で陽性反応者が出た場合、本人は医療機関の指示に従い治療を行います。制作現場は保健所の指示に従い、濃厚接触者を特定して該当者は自宅(ホテル自室)待機となります。

【スタッフ・キャスト以外の人との接触機会を減らすこと】

- ・ 通勤時から帰宅するまで、常にマスク(不織布マスク)着用を徹底すること
(プロダクションでも用意しますが、基本的に各自で用意してください)
- ・ 各自体温計を用意し、通勤前に毎朝検温し体調管理をすること
- ・ 現場以外での食事に関し、家族でない場合は4人まで2時間以内とし、それ以上は禁止とします
- ・ 感染経路不明の疑いが強いナイトクラブ等には立ち入らないこと

【手洗い・アルコール消毒の励行】

- ・ 毎日の撮影スタート前から始まり、休憩に入る時と終了時等、要所要所での消毒を心がけること
- ・ ロケ場所入り口のドアノブなどは更にこまめな消毒をすること
- ・ トランシーバー、ピンマイクなど人と接触する機会の高いものには特に気を使うこと
- ・ 撮影の前後、特に食事前やお茶セットに触れる前などは、手指消毒(可能な限り手洗いがいい)をすること

【換気について】

- ・ スタッフルーム、支度部屋などのドアや窓は換気をよくするため閉めきらないようにすること
- ・ リハーサルや撮影中のスタジオなど現場もこまめに換気。セットチェンジやシーンごとはもちろん、目安は2時間に一度、10分程度の換気をする

【飲料/水分補給について】

- ・ 飲み物は基本ペットボトルや缶のものを用意いたします。
- ・ ロケ先への配慮やそれを処理する人のため、飲み残しを放置しないように徹底してください。

【食事について】

- ・ 食事はなるべく対面を避け、会話を控えるように徹底してください。
- ・ あらかじめ弁当Boxなど、個別包装されているものを提供します。箸やコップに関しても、使い捨ての物を使用してください。
- ・ 上記のことから、朝出発時など、車中での食事(移動メシなど)は原則禁止とさせていただきます。(食事場所の確保ができない場合、車内などを使うこともありますが、その場合は密接とならないよう人数を制限し、会話禁止を徹底した上で実施します)

【喫煙場所について】

- ・ マスクを外しての密集を避けるため、それぞれ携帯灰皿を用意して喫煙エリアでフィジカル・ディスタンスをとって喫煙してください。喫煙場所が狭いなど、距離をとれない場合は黙煙を徹底してください。

制作プロダクション
株式会社スターサンズ
株式会社ラトロン